

2019 年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	特 16		学校名	県立石岡特別支援学校								学校長名	村山 亮					
教 頭 名	友部 道夫				坪松 久美子				事務長名	速水 崇行								
教職員数	教諭	63	養護教諭	2	栄養教諭	1	常勤講師	13	非常勤講師	6	実習助手	2	事務職員	3	技術職員等	4	計	98
幼児・児童・生徒数	部	1年(3歳児)		2年(4歳児)		3年(5歳児)		4年		5年		6年		合計		合計		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	クラス数		
	幼稚部	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
	小学部	8	2	8	0	7	4	9	2	9	2	5	2	46	12	16		
	中学部	9	1	11	3	12	4	/	/	/	/	/	/	32	8	9		
高等部	16	7	16	0	13	4	/	/	/	/	/	/	45	11	10			

2 目指す学校像

- ◆一人一人の学びを大切にする学校
- ◆安全・安心で互いを大切に思う学校
- ◆地域のよさを大切にする学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む）

項 目	現 状 分 析	課 題
安全・安心で温かな教育環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学部棟及び高等部棟の増改築工事は平成 30 年度末に完了しているが、外 構（グラウンドフェンス）及びプール改修は今年度予定されている。 ・校舎内外の定期的な安全点検を計画し、児童生徒が安心して学習や生活できる教育環境の整備に努めている。 ・全学年で「道徳」の授業を設定し、学年・部・学校全体など学習内容により柔軟な指導体制で計画的・系統的な指導を積み重ねられるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・工事関係車両の校内での安全通行や工事 箇所への児童生徒の立入り制限を徹底する必要がある。 ・保健安全部及び事務部を中心とした教育環境の安全点検を定期的に行う。 ・各部の道徳教育推進係を中心に、特別支援学校（知的障害教育）における道徳教育の在り方について研究を深める必要がある。
確かな学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・校務用 P C を教職員一人 1 台整備し、教職員が校務及び授業等で活用するとともに、液晶ビジョンを各教室・廊下等に配置し、情報共有や提供に努めている。 ・各教科（教科等を合わせた指導）の指導及びそれらと関連した自立活動の指導の在り方について、計画的に校内研修を実施し教職員の専門性向上を図られるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・校務用 P C の効果的な活用を図るため、教職員の I C T 活用指導力の向上に寄与する校内研修を計画的かつ系統的に実施する必要がある。 ・専門家の助言を得ながら、児童生徒の実態把握のほか、授業デザインに係る教員の専門性を高めるための研究体制を構築していく必要がある。

地域に根ざした教育	<ul style="list-style-type: none"> 石岡市をはじめ、通学区域内の自然や地場産業の状況を把握するとともに、授業デザインや現場実習等で活用できる地域資源について整理している。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域連携推進部を中心に、今年度の取組で活用が期待できる地域資源を整理する必要がある。 農業や林業等、地域資源に関連する社会人講師等の活用により、作業学習等の授業において地域に根ざした学習活動が展開できるようにする必要がある。
地域の特別支援教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 通学区域内の市教育委員会や学校（園）等への挨拶まわりを計画的に実施し、本校の特色や地域への支援等について理解を促してきた。 	<ul style="list-style-type: none"> 通学区域内の市教育委員会をはじめ、幼児教育施設や高等学校等との連携を深めるため、本校の教育活動や地域支援の方向性等について引き続き理解啓発を図る必要がある。 地域の特別支援教育に関するニーズの把握に努めるとともに、小・中・高等学校等の教職員とともに学び合い、地域の特別支援教育の充実を図れるようにする必要がある。

4 中期的目標

<ol style="list-style-type: none"> 「安全・安心」な教育活動を徹底し、安心して生活できる教育環境の整備に努める。 一人一人の児童生徒の学習や生活のしやすさを高め、生活に結び付いた確かな学力の定着を図る。 地域の自然や地場産業等を有効活用し、地域に根ざした教育活動を推進する。 幼児教育施設や小・中・高等学校等との連携を密にし、地域の特別支援教育の充実に寄与する。
--

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
A 安全・安心で温かな教育環境づくり	<ol style="list-style-type: none"> 児童生徒が安心して学習や生活できる教育環境の整備 全学年での「道徳」の授業を通した相手を思いやる豊かな心の育成
B 一人一人が学ぶ楽しさを実感できる授業づくり	<ol style="list-style-type: none"> I C Tを積極的に活用した学習支援の工夫等による生活に結び付いた確かな学力の定着 自立活動の充実（専門家と連携した事例検討，教科等の学習との関連）
C 地域資源の有効活用と地域に根ざした教育の推進	<ol style="list-style-type: none"> 地場産業と共同した授業づくりと地域との交流の推進 地域の自然や公共施設等を有効活用した健やかな心や体の育成（自然体験や自然散策等）
D センター的機能をいかした地域の特別支援教育の充実	<ol style="list-style-type: none"> 幼児教育施設や小・中・高等学校への巡回相談を通した地域の子供たちへの支援の充実 学校公開や研修会を通した特別支援教育に関する情報の積極的な発信